

# 令和4年度香美市子ども読書活動推進委員会 議事概要

日時 令和5年1月26日(木) 14:00～15:20  
場所 香美市立図書館かみーる つながるーむ

## 出席者

委員 大井厚志、島内貴美、宮原理香、中島敦子、島村万紀、森田美穂、  
二宮景子、公文まき

## 欠席者

委員 小松由香

事務局 門脇真里(館長)、土居正和、内田愛子、坂本真奈

## 1.あいさつ

### 内容

各委員の自己紹介及び館長からあいさつ

## 2.委員長及び副委員長の選出について

・各委員からの立候補がなかったため、事務局が委員長を島村万紀氏、副委員長を小松由香氏に選任し、全会一致にて決定した。小松氏は当日欠席したが、事前に同意を得ている。

## 3.第三次香美市子ども読書活動推進計画の進捗について

### (1)家庭・地域における取り組み・現状と課題

#### 【物部】

- ・家庭では、図書館で借りた本の読み聞かせを行っている。
- ・小中学校の読み聞かせは、月1回、複数人で行っている。

#### 【香北】

- ・香北分館は香美市基幹集落センター内に移転したことにより、閲覧スペースが館内に十分確保できていない。建物玄関の円卓や予約が入っていない場合に利用できる会議室はあるが、子どもたちや図書館利用者がいつでも利用できる場所が欲しい。
- ・地元で図書館の機能もありつつ、公民館的な赤ちゃんからお年寄りまでが集えて、本を通して地域の町おこしになるようなことをしたいと考えている人達が活動しており、市議や市長に提言を行っている。
- ・学校での月2回の読み聞かせの後、図書館の整理、POP作り、ラベル張り替えの作業など行っている。
- ・おでかけ図書の認知度が低い。もっと普及が必要だと思う。

#### 【山田】

- ・山田小学校、香長小学校、鏡野中学校で読み聞かせを行っている。
- ・マスク着用はしているが、活動機会はコロナ禍前のように増えてきているように感じる。
- ・かみーるでは、子どもを連れた父親が多いように感じ、とてもいい光景だ。

事務局からの意見

・現在の香北分館は仮移転と考えており、現状についても把握している。美良布保育園の移転の動きもあり、市全体の動きも考えつつ、図書館だけでなく教育委員会の中で全体で考えていく必要がある。香北分館においても、かみーるのように居場所作りをしていきたい。今後、会議を開いたり、図書館も皆さんと共に良い方向に進んでいきたいと考えている。  
 ・おでかけ図書館の認知度向上について、来年度おでかけ図書館マップを作成する。知ってもらい、より活用していただくよう取り組んでいく。

委員からの質問	事務局の回答
物部分館の閲覧スペースはどうなっているか。	物部分館は物部支所内にあり、カウンター席、丸テーブル、子どもが靴を脱いで上がるスペースもある。

(2) 幼稚園・保育園・学校における取り組み・現状と課題

**【幼稚園】**

- ・月2～3回、読み聞かせボランティアによる「読みがたり」を行っている。
- ・オーテピアの移動図書館、かみーるのお出かけ図書館を利用している。
- ・今夏の耐震工事で新たに読書コーナーを作り、教室にも読書コーナーにも本を置き、読書ができるようにした。昼食の後など、園児が自主的に読書をしている。
- ・外国籍家庭の子どもたちにも本を与えられる環境を作ってもらいたい。

**【保育園】**

- ・コロナの影響で外部から読み聞かせボランティアを入れることはしていない。
- ・自由遊びの中や帰りの会などで1日2～3冊の読み聞かせを行っている。

**【小学校】**

- ・読み聞かせボランティアによる読み聞かせを行っている。
- ・授業の中でもなるべく図書館を活用するようにしているが、1人1台タブレットが支給され、県からも積極的に利用するよう言われている。タブレットを利用すると調べたいものしか情報が得られないため、今後問題が出てくるのではないかと考えている。
- ・授業によっては、公共図書館と連携して取り組んでいるものもあるので、今後も利用したい。
- ・PTAでも資金を出し合って図書を購入している学校もある。
- ・香長小学校でも地域の方向けの「あったか図書館」を作っているが、認知度が低く利用が少ない。
- ・活字離れが進んできているので、読書しない子が増えてきている。
- ・タブレットを使いこなす能力も必要だが、活字とどう接していくか悩みながら取り組んでいる。

#### 【小学校】

- ・朝読書
- ・ボランティアによる読み聞かせ(毎週木曜日 各クラス)
- ・親子読書(1、2年生)
- ・長期休み親子読書(3～6年生)
- ・縦割り班(班長・副班長による読み聞かせ)
- ・図書委員会による集会発表
- ・図書委員会による図書館掲示
- ・授業での並行読書、図書の本の活用(全学年)
- ・読書まつり

#### 【中学校】

- ・1学期間4～5回の読み聞かせボランティアに入ってもらっている。
- ・朝の10分間読書も落ち着いて読書ができている。
- ・調べ学習で本を手にとらせて見せてあげたいが、蔵書数の問題や全員が同じ土俵でとなると、タブレットを活用することになってしまい、活字離れが進んでしまう。
- ・読書をする子としない子で二極化してしまっている。
- ・かみーるが出来て多くの学生が来館している。
- ・公共図書館と連携して1冊でも多くの本を手にとってもらいたいと考えている。

### (3) 図書館における取り組み・現状と課題

#### ◆ 図書館資料の整備・充実

- ・子ども(0～18歳)への年度別貸出冊数の推移は、別紙参照のこと。
- ・H31年度以降は、新型コロナウイルス感染拡大により図書館が休館(R2.4.1～R2.5.11)したことや、香北分館の移転に伴う休館(R2.9.1～R2.11.1)があったこと、また利用者の利用自粛により図のように推移している。今年度は約2ヵ月間休館し、11/3にかみーるが開館した。ファミリー層の来館も格段に増え、土日は多くの子どもでにぎわっている。
- ・資料については、引き続き整理・買い替え・新たに購入を進めていき、各年代の子どもが興味・関心を高められるように資料の充実を目指す。

#### ◆ 「子ども司書」養成講座について

- ・今年度は新図書館移転準備のため実施しなかった。
- ・子ども司書活動として、すくすくかみーる(赤ちゃんから小学1年生頃におすすめする絵本・本を紹介する冊子)の作成に協力をしてもらった。この冊子は、ブックスタートで絵本と一緒に健診対象者に配布する。
- ・子ども司書認定者188名を対象におすすめの本の調査を行い、10月にはかみーるでPOPづくりを行った。子ども司書おすすめの本は冊子の中で紹介しており、POPは子ども司書コーナーに展示している。
- ・かみーる開館日には読み聞かせで3名、館内整理やトートバッグの配布作業で2名の子ども司書が活動した。
- ・来年度の子ども司書養成講座は、実施予定である(春頃、各学校に募集案内を送付する)

◆主催事業(イベントの開催)

- ・例年行っているおはなし会などに加え、夏にやなせたかし記念館主催事業「やなせのキセキ」にて、詩とメルヘン絵本館に新図書館PRブースの設置と香北分館のやなせたかし関連図書の閲覧コーナーを設置した。また、同会場で7月と8月の計2回にわたり香北のボランティアと読み聞かせ会を実施した。
- ・物部分館では物部地区公民館との共同企画で「夏の夜のお楽しみ映画上映会」を実施し、上映後は星空観察会を行った。
- ・かみーる開館時には、子ども司書や山田おはなしの会によるおはなし会、高知みらい科学館の出張モバイルミュージアムを実施した。その後も香美市出身の漫画家くさか里樹先生、森田将文先生の複製原画展などを開催した。今週末には「腰のケア講習」、2月以降は映画会など、様々なイベントを実施する予定となっている。

◆学校との連携

- ・学習としての図書館見学や、図書支援員と連携し教科関連図書の貸出を継続して行っている。
- ・令和3年度から図書支援員のコーディネーター的役割を図書館が担っており、今年度は各学校やかみーるにて研修会を4回開催した。来年度も引き続き連携を行う。

◆ブックスタート

- ・昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染対策のため、職員1名が健診会場(プラザ八王子)での配布をしている。しかし、極力接触を避けなければならないことから、読み聞かせ等はできず、最低限の案内のみとなっている。健診対象者への本の配布率は、現在95.8%となっている。
- ・館内にはブックスタート図書コーナーを設置し、NPOブックスタートの推薦図書を揃え、貸出しも行っている。
- ・来年度からは、かみーるで健診を行うため、読み聞かせも行いたいと考えている。
- ・香北分館では「どんぐりの会」を子育てセンター美良布で定期的で開催し、テーマに沿ったプログラムを組み、手遊び、わらべ歌、読み聞かせなどの活動を継続して行っている。

◆高知工科大学との連携

- ・高知工科大学附属情報図書館との相互協力の協定を結んでおり、毎年長期貸出本の提供を受け、蔵書の充実が図られている。しかし、令和6年度以降については当該事業が廃止されるため、新規の提供がなくなる。
- ・幼稚園・保育園向け長期貸出本の提供を受けた分については、引き続き要望のあった幼稚園・保育園にアウトリーチサービスとして巡回図書を行う。冊数は約70冊、貸出期間は2ヵ月、本の汚れや破損による弁償等はないため、ぜひ利用していただきたい。
- ・インターンシップは、今年度1名受け入れた。

◆バリアフリーの取り組み

- ・今年度からオーテピア高知声と点字の図書館のサポートを受けながら、バリアフリーサービスにも積極的に取り組んでいる。現在、利用者案内リーフレットを作成中である。
- ・大活字本や点字図書、布絵本などの書籍に加え、エンボイコネク(デージー図書再生機)、マルチメディアデージーなどの機器も利用できるようになった。また、新たに児童向けの大活字本も購入した。

事務局からの意見

・かみーるは「会話ができる図書館」になっている。今後も気軽に利用してもらいたい。

(4) コロナ禍における取り組み

【各委員】

情勢を考慮しながら活動に取り組んでいく。

【図書館】

・飛沫対策としてカウンターにシールドの設置、出入口に検温器・手指消毒液の設置、手が触れる箇所の消毒作業等を行い、利用者に安心してご利用いただけるよう取り組んでいる。  
・設備としては、図書消毒機と自動貸出機を導入している。

4. 令和5年度の活動について

【図書館】

・子ども向け図書の蔵書の充実を図る。  
・図書館司書による読み聞かせ会(月1回)、映画上映会(月1回)を行う。  
・学習やコミュニケーションの場を提供する(学習・読書室、ブラウジングコーナー、飲食室、グループ室など)  
・香美市公式HP、Facebook、Instagramなどで情報発信を行う。

5. その他

事務局からの連絡事項

・次回の委員会は、令和6年1月を予定している。  
・委員任期は、令和6年3月31日までである。  
・第三次香美市子ども読書活動推進計画は令和2年度から令和6年度までとなっており、令和6年度には新たに策定委員会を開く予定である。